
バーチャルガーデニング マニュアル

第一版



株式会社ジェーエフピー

同梱品リスト

本製品には以下が同梱されています。

CD-ROM	1枚
・アップデート フロッピーディスク	2枚
・マニュアル	1冊
・クイックリファレンス	1部
・使用許諾契約書	1枚
・ユーザ登録はがき	1枚

目次

同梱品リスト	2
インストール	5
(1)CD-ROMからのインストール	5
(2)フロッピーディスクからのインストール	5
(3)アンインストール	6
1 .はじめに	7
2 あたらしい庭のデザインを始める	8
3 作成保存した庭を呼び出す	9
4 .デザインワークの開始	10
5 .敷地の修正	11
6 .家屋の修正	12
7 .敷地の凹凸	13
8 .素材部品の選択	14
9 .素材部品の配置(窓、玄関、門、外壁)	15
10 .素材部品の配置(芝生、砂利、池、敷石組、レンガ組、ウッドデッキ)	16
11 .素材部品の配置(垣根)	18
12 .素材部品の配置(アクセサリ部品)	19
13 .花の配置	20
14 .樹木の配置	21
15 オブジェクトの移動	22
16 オブジェクトの削除(消しゴム)	23
17 .デザインワーク処理の取り消し(アンドゥ)	24
18 平面図の拡大縮小	25
19 オブジェクトの情報表示	26
20 .デザインした庭を保存する	27
21 .デザインをやりなおす	28
22 .バーチャルガーデニングを終了する	29
23 .デザインした庭を見る(ウォークスルーの開始)	30
24. さいごに	35
付録 部品リスト	36
樹種リスト	36
玄関(14種)	37
門(8種)	37
窓(18種)	38
外壁(25種)	39
垣根(15種)	40
地表面(27種)	41

プランタ鉢(24種).....	42
石・レンガ(28種).....	43
アクセサリ(35種).....	44
花(春)(33種).....	46
花(夏)(26種).....	48
花(秋冬)(25種).....	49
動作がおかしいときに.....	50
(1)デザインワーク画面へ進むボタンが表示されない.....	51
(2)バーチャルガーデニングをインストールしたフォルダを消したら、再インストールできなくなった.....	51
(3)「ガーデニングデザインロード」で「和風」を読み込もうとするとエラーが表示される.....	52
(4)敷地が斜めの場合に敷地に沿って垣根が引けない.....	52
(5)ウォークスルー画面が真っ黒になってしまう.....	52
(6)使い方が良くわからない.....	52
(7)デザイン中に家の配置がおかしくなる?.....	53
(8)様々なエラーが発生してウォークスルーを行えない.....	53
(9)印刷機能はないの?.....	54

一般に商品名は各社の商標または登録商標です。

『バーチャルガーデニング』は株式会社ジェーエフピーが商標を登録申請中です。

インストール

まず、CD-ROMからインストールした後、フロッピーディスクからアップデートをインストールしてください。

(1)CD-ROMからのインストール

Windowsが起動した後に、本CDをCD-ROMドライブに挿入すると、自動的にインストーラが立ち上がります。インストーラの指示にしたがってインストールを行ってください。お使いの機器の設定によってはインストーラが自動的に立ち上がらない場合もあります。その際はCD-ROMの中の「vgstart」(またはvgstart.exe)を実行してインストールしてください。その際、他のアプリケーションや常駐ソフトなどはすべて終了しておいてください。

メモリやリソース不足で、インストールに失敗する場合があります。

このCD-ROMをオーディオ装置にかけて聴いてはいけません。大音量などが生じ、オーディオ機器やあなたの耳に重大な障害を負わせる危険があります

(2)フロッピーディスクからのインストール

同封のフロッピーディスク2枚は、バーチャルガーデニング V1.1 から V1.1b へのアップデートです。

CD-ROMからバーチャルガーデニングをインストールした後、フロッピーディスク「バーチャルガーデニングV1.1 V1.1b アップデータ ディスク1」の中のSetup.exeを実行してください。このアイコンを実行  はこちらを実行しないでください。



Setup.insとお間違えなきようご注意ください。(拡張子を表示しないようWindowsを設定している場合、どちらもSetupとだけ表示されます。その場合、アイコンの形で区別してください)インストール途中でフロッピーを交換するようメッセージが表示されますので、その指示に従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。

同様の物がインターネット上でも公開されており、今後、さらに修正があった際にはダウンロードしていただけます。

詳細は、<http://www.jfp.co.jp/garden/support/> をご覧ください。

その際にお客様のユーザ名とパスワードが必要なことがあります。

お客様のユーザ名は gardenuser

パスワードは true#use9

です。(すべて半角小文字です)

インストール時のご注意

「インストールが終了しました」というダイアログが背面に隠れて、インストールが終了しないように見える場合があります。「ALT」キーを押しながら「TAB」キーを数回押し、背面に隠れているダイアログを全面に出してOKボタンを押してインストールを完了してください。

(3) アンインストール

バーチャルゲーディングをお使いのマシンから削除する際は、直接ハードディスクから削除しないでください。必ずアンインストーラを使って削除してください。

Windowsの「スタート」-「バーチャルゲーディング」-「UNINST」を実行するか、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」で「バーチャルゲーディング」を選んで「変更/削除」ボタンを押してください。

アンインストールが正しく行えないと、再インストールができなくなります。(インストーラを起動できなくなります)

そのような場合、本マニュアル「動作がおかしいときに」の「(2)バーチャルゲーディングをインストールしたフォルダを消したら、再インストールできなくなった」をご覧ください。

1. はじめに

このたびはバーチャルガーデニングをお買い求めいただき誠にありがとうございます。

バーチャルガーデニングは、簡単な操作で庭をデザインすることができ、そのバーチャルな庭の中に入り込み歩きまわることによって、デザインを体感することができます。

バーチャルな庭の中では四季や時刻、天候も変化していきますのでデザインした庭の春夏秋冬、朝、夕方そして夜、雨や雪をお楽しみいただくことができます。

樹木の生長によって年々変わっていく庭の様子をどうぞご覧下さい。

このマニュアルでは、1つの庭のデザイン過程を通して、バーチャルガーデニングの機能をご説明します。

デザインが終わった後で、その庭の中の歩き方をご紹介します。

2. あたらしい庭のデザインを始める

・メインメニューから「ガーデニングデザインスタート」を選んで、新しい庭のデザインを開始しましょう。(図2-1)

・ガーデニングデザインを開始して最初のステップは、敷地の形選びです。(図2-2)
あとで修正することが出来ますので、ここでは敷地の形に最も近い図形を選択して下さい。
バーチャルガーデニングでは、常に上が北になっています。

上を北として見たとき、図形の向きが違う場合は、図2-3のボタンを押して図形を回転させて下さい。

・敷地の図形をマウスで選択したら、図2-4のボタンを押して次のステップに進んで下さい。

・ガーデニングデザインの次のステップは、家屋の形選びです。(図2-5)

平面図として見た場合、家屋の輪郭に最も近い図形を選択してください。

敷地を回転させた時と同じように、上が北になるように、図2-3のボタンで図形を回転させてから、家屋図形をマウスで選びます。

部品のレイアウトをはじめたら、家屋と敷地の形は変形しないで下さい。データに不整合が生じる可能性がまれにあります。



図 2 - 1

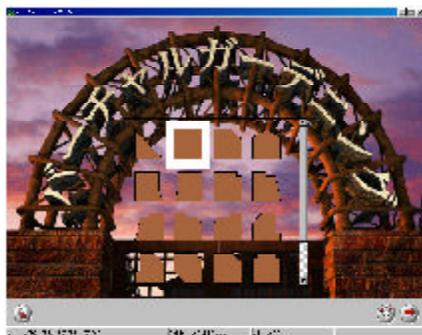


図 2 - 2



図 2 - 3



図 2 - 4

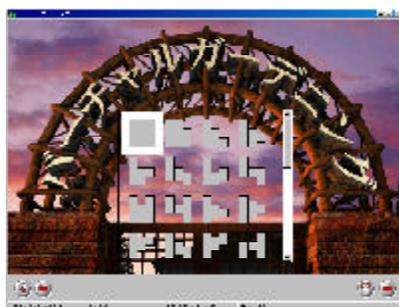


図 2 - 5

3. 作成保存した庭を呼び出す

・バーチャルガーデニングでは、あなたが作成して保存した庭を呼び出して、修正を加えたり既に完成した庭のウォークスルーを楽しむことができます。

・まずメインメニューの「ガーデニングデザインロード」を押します。(図3-1)

・以前に作成保存した庭のデザインの一覧が表示されます。(図3-2)

呼び出したい庭をマウスで選び、図3-3のボタンを押してデザインワークに進んで下さい。

・庭を他のフォルダに保存していた場合は、図3-4のボタンを押して、対象フォルダを切り替えて、一覧を再表示してから選択してください。(図3-5)

バーチャルガーデニングでは、あらかじめ6つのタイプの庭が保存されていますので、お庭造りのご参考にして下さい。(図3-6)



図3 - 1

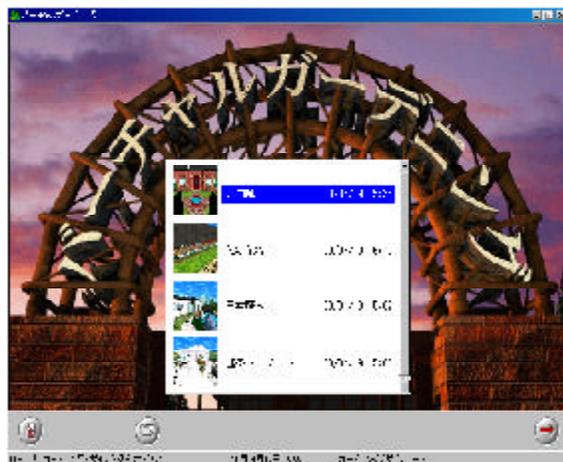


図3 - 2



図3 - 3



図3 - 4



図3 - 5



メディテレニアン



坪庭



和風



フォーマル



モダン



カントリー

図3 - 6

4. デザインワークの開始

これまでのステップで選択した敷地、家屋が表示されているのが敷地の平面図です。

この上で庭のレイアウトを行います。(図4-1)

左側の窓や門などの素材部品が格納されているのがオブジェクトボックスです。

(図4-2)

新規に庭をデザインする場合、色々な素材部品をレイアウトする前に、敷地や家屋の形、大きさを修正する必要があります。

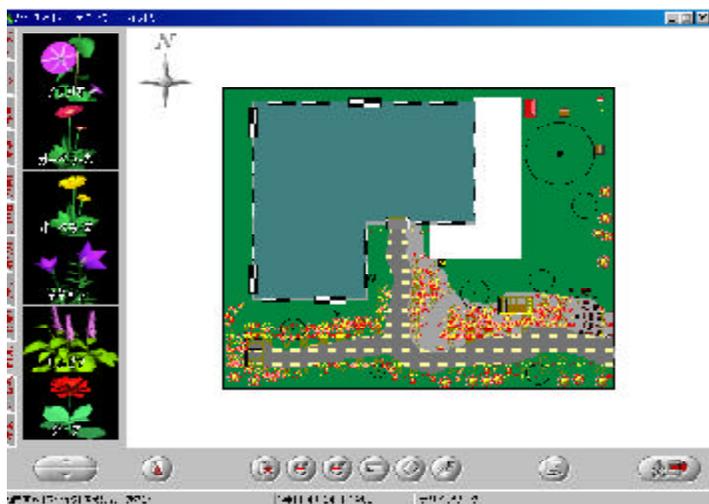


図4 - 1



図4 - 2

5. 敷地の修正

・まず敷地の形を修正してみましょう

・図5-1の定規ボタンを押すと、マウスポインタが定規型に変わります。

敷地の変形は頂点の移動によって行ないます。

移動したい頂点に対してマウスボタンを押して、変形したい方向にマウスをドラッグして下さい。

変形中は対象となる2辺の長さが表示されますので、ご参考にして下さい。(図5-2)

・マウスボタンを放すと変形が決まります。

もう一度定規ボタンを押すまでの間、この変形を繰り返すことができます。



図5 - 1

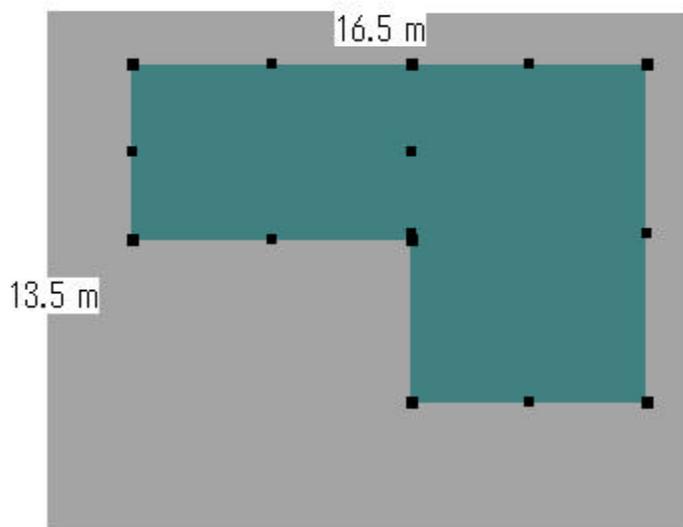


図5 - 2

6. 家屋の修正

次に家屋の形を修正してみましょう

・図6-1の定規ボタンを押して、マウスポインタを家屋の上を持っていくと、マウスポインタが定規型に変わります。

家屋の大きさを左右や上下に広げたり縮めたりしてみましょう。

・マウスポインタを家屋の上を持っていくと、場所によって定規ポインタの形が矢印に変わります。

その場所から、マウスの左ボタンを押しながら、家屋を変形したい大きさまでドラッグして下さい。

(図6-2)

家屋の形は、全て四角いブロックの組み合わせで構成されています。

家屋の変形は、図6-2のように、この四角いブロックに対して行ないます。

・マウスボタンを放すと変形が終了し、家屋の形が決まります。

もう一度定規ボタンを押すまで、この変形を繰り返すことができます。



図6 - 1

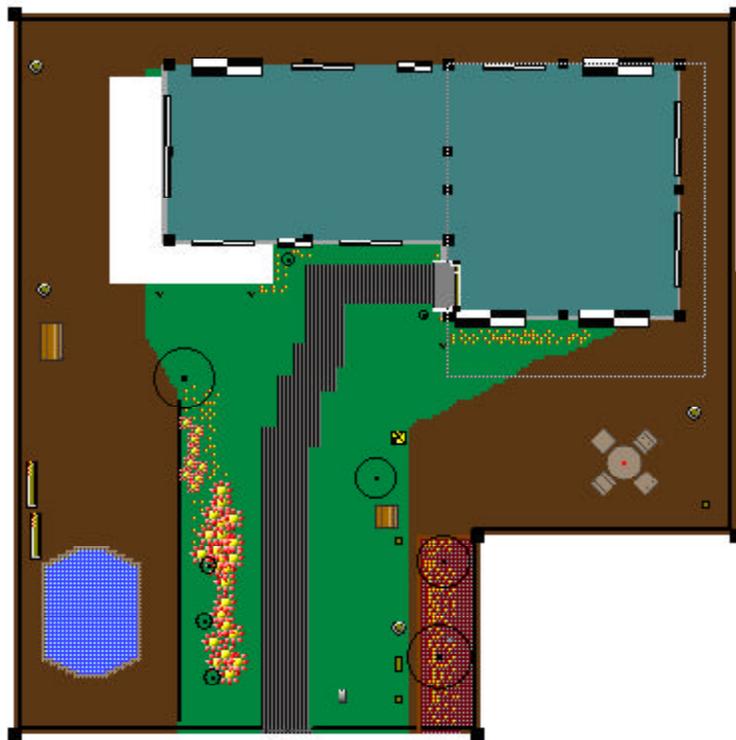


図6 - 2

7. 敷地の凹凸

・デザイン開始した直後は、敷地は全て平坦です。

敷地の凸凹を修正してみましょう

図7-1のボタンを押すと、敷地がワイヤーフレームで表示されます。(図7-2)

ひとつのメッシュのマス目は10cmを表しています。

敷地の家屋部分は、凸凹にできないので表示されません。

・隆起させたい場所でマウスを左クリックしてください。

左ボタンを押し続けるとどんどん隆起していきます。

・陥没させる場合はマウスを右クリックしてください。

・メッシュが細かくて見づらい場合は、図7-3のボタンを押して拡大表示して下さい。

・また、横から見たい場合は、図7-4のボタンを押して、回転させて下さい。

・ワイヤーフレーム上では、庭のレイアウトはできませんので、凸凹の編集が終わったら図7-5のボタンを押して、平面図に戻ります。

平面図上での凸凹は濃淡で表されます。(図7-6)



図7 - 1

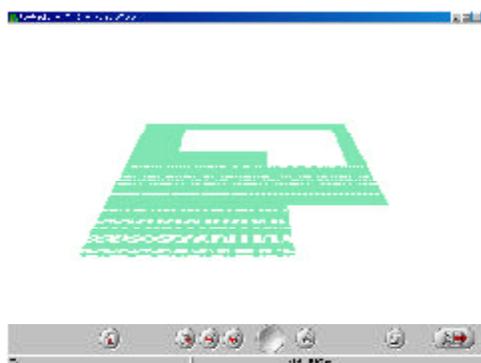


図7 - 2



図7 - 3



図7 - 4



図7 - 5



図7 - 6

8. 素材部品の選択

・ここでは、素材部品の選び方をご説明します。

・様々な種類の素材部品が、オブジェクトボックスの中にたくさん入っています。

図8-1の左側のタブをクリックして下さい。

オブジェクトボックスの中の様々な種類の素材部品を切り替えることができます。

素材部品は、門・玄関、窓、外壁、垣根、地表面、プランタ・鉢、石・レンガ、アクセサリ、花、樹木に分類されています。

・砂利を選ぶ場合は、オブジェクトボックスの中の「地表面」をクリックします。

図8-2の上下スライドボタンを押すと、様々な砂利が出てきますので、1種類の砂利をクリックして選択します。(図8-3)

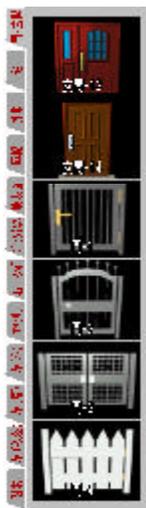


図8 - 1



図8 - 2

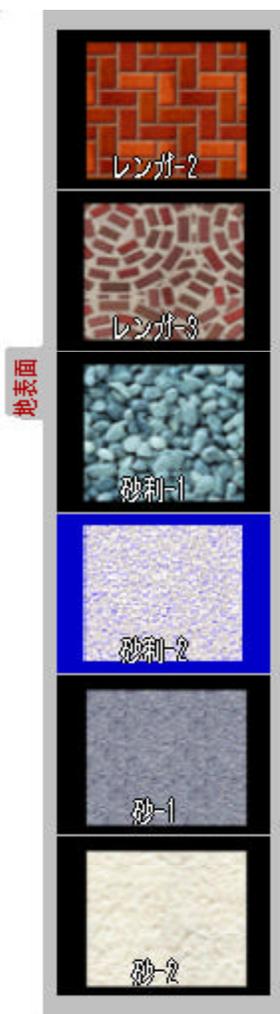


図8 - 3

9. 素材部品の配置（窓、玄関、門、外壁）

今度は、窓を配置してみましょう

配置したいデザインの窓をオブジェクトボックス上に表示させ、その窓アイコンをクリックして下さい。

その窓が選択されている間は、オブジェクトボックス上の窓の色は反転しています。

（図9-1）

・この時、マウスポインタの先に窓記号が付いています。（図9-2-1）

そこで配置したい場所で左クリックをすると、最も近い家屋の壁に窓が張り付いて配置されます。

（図9-2-2）

もう一度オブジェクトボックスの反転している窓アイコンをクリックするまで、同じ窓を何個でも配置できます。

・玄関も、窓と同じように配置します。

・家の門も同じように配置しますが、敷地のへりに張り付く形で配置されます。

外壁はオブジェクトボックスの外壁アイコンをクリックするだけで、家屋全体に対して指定されます。

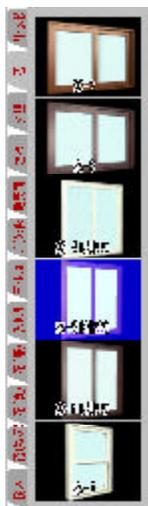


図9-1



図9-2-1

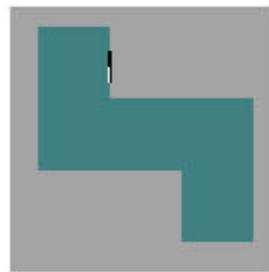


図9-2-2

10. 素材部品の配置（芝生、砂利、池、敷石組、レンガ組、ウッドデッキ）

・芝生、砂利、敷石組、池、レンガ組、ウッドデッキ、垣根など地面に貼り付ける部品（図10-1）はペイント系部品と呼び、平面図上に塗るような形で配置します。

何も塗られていない地面は、自動的に土になりますので注意して下さい。

・ここでは地面に芝生を貼ってみましょう

・オブジェクトボックスをスライドして芝生を探し（図10-2）クリックして選択すると、マウスポインタの先に、小さな芝生記号が付いてきます。

その時、芝生を貼り始めたい場所までマウスポインタを持って



図10-1

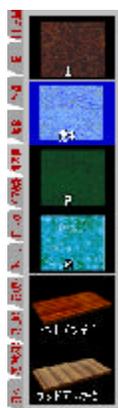


図10-2



図10-3

行き、そこでマウスの左ボタンを押すと、芝生が貼りつきます。

貼りたい部分にペイントするような感じで、マウスの左ボタンでクリックやドラッグをして下さい。芝生を一度に広く塗りたい場合は、マウスの右クリックによって、ペイントサイズを変えることができます。

通常の左クリックでも芝生を貼り付けることは出来ますが、マウスの右ボタンを数回クリックすることで、面積を切り替えられるようになっています。

面積比は、拡大してみると図10-3のようになります。

・このように、右クリックでペイントサイズを切り替えて、庭をデザインしやすい大きさに変えてから、左ボタンで芝生を貼りつけて下さい。

一度に広い領域を同じ素材部品で塗りつぶすこともできます。芝生でやってみましょう
まず、オブジェクトボックスは芝生を選択している状態で、マウスの左ボタンを押しながら円を描きます。(図10-4-1)

次に、マウスの右ボタンを数回押して下さい。

何回か押している間に、マウスポインタがバケツに変わります。

この状態のまま、円の中で左クリックをすると、その円の内側に、芝生を流し込む感覚で配置することが出来ます。(図10-4-2)

・もしも、円などで領域を指定しない状態のまま、庭にバケツで芝生を流し込んだ場合、左クリックをした場所にある素材の全てが、芝生に変わります。(図10-5-1、図10-5-2)

もう一度オブジェクトボックスの反転している芝生アイコンをクリックするまでの間、何度でも貼り付けることができます。



図 10 - 4 - 1



図 10 - 4 - 2



図 10 - 5 - 1



図 10 - 5 - 2

11. 素材部品の配置（垣根）

垣根は、ペイント系部品の芝生などと同様に、ペイントの方法で配置します。

オブジェクトボックスから、配置したい垣根をクリックして選んでください。

(図11-1)

面として広く塗ることはできませんが、平面図上で直線に線を引くような形で配置します。(図11-2-1、図11-2-2)



図 1 1 - 1

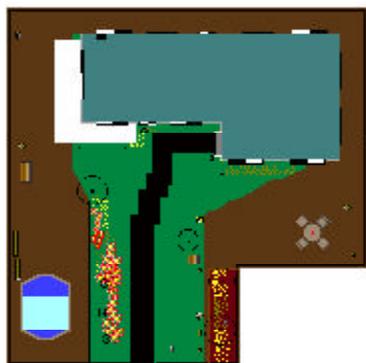


図 1 1 - 2 - 1

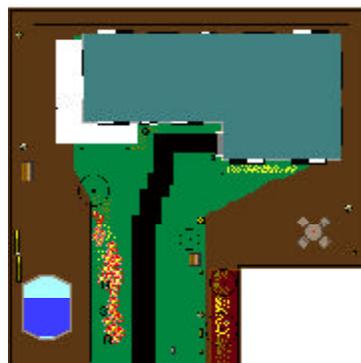


図 1 1 - 2 - 2

12. 素材部品の配置（アクセサリ部品）

・庭を演出する、様々な小物を配置してみましょう

外灯、庭石、燈籠、レンガ、カーポート 鉢など様々な素材部品の中から選んで配置して下さい。（図12-1）

・ここでは敷石を置いてみましょう（図12-2）

オブジェクトボックスに配置したい素材部品を出して、クリックをします。

選択された敷石のアイコンは反転します。

・マウスポインタの先に敷石記号が付いてきますので、置きたい場所でクリックすると、そこに敷石が配置されます。（図12-3-1、図12-3-2）

もう一度オブジェクトボックスの反転している敷石アイコンをクリックするまで

同じ敷石を何個でも配置できます。

・クリックのかわりに、マウスドラッグをすると、同じ敷石を並べて置くことができます。



図12-1

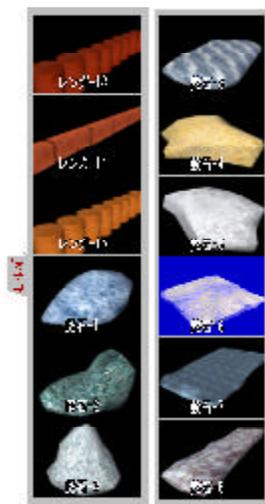


図12-2



図12-3-1



図12-3-2

13. 花の配置

- ・今度は、花を植えてみましょう
- ・花もアクセサリ部品と同じ方法で配置します。
- ・オブジェクトボックスから配置したい花を選び、その花をクリックします。
ここではスイセンを置いてみましょう (図13-1)

マウスポインタの先に花記号が付いてきます。

平面図上で置きたい場所でクリックすると、スイセンがそこに配置されます。

もう一度オブジェクトボックスの反転しているスイセンアイコンをクリックするまで、同じスイセンを何個でも配置することができます。

クリックのかわりにマウスの左ボタンを押してドラッグをすると、同じスイセンを並べて植えることができます。

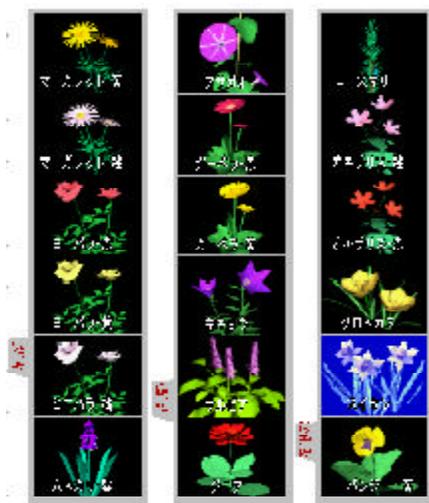


図 1 3 - 1

14. 樹木の配置

・いよいよ樹木を植えてみましょう

オブジェクトボックスのタブで樹木を選び、上下にスライドして、お好みの樹種を表示させて下さい。

・ここでは楓 (カエデ) を植えてみましょう。(図14-1)

オブジェクトボックスに楓が出たら、その楓アイコンを押して下さい。

楓アイコンを押すと、右側に楓の5段階の樹齢のイメージ図が出てきますので、植えたい樹齢の楓を選んでクリックして下さい。(図14-2)

(あまり早くないマシンではイメージ図が出るまで、一呼吸待つ必要があるかもしれません)

・マウスポインタの先に樹木記号が付いてきますので、植えたい場所で左クリックして下さい。もう一度オブジェクトボックスの楓のアイコンをクリックするまで、楓を植えることができます。(図14-3-1、図14-3-2)



図14-1

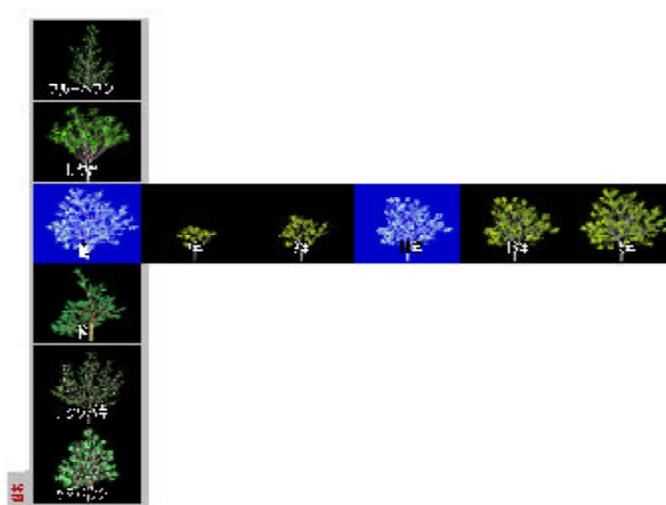


図14-2

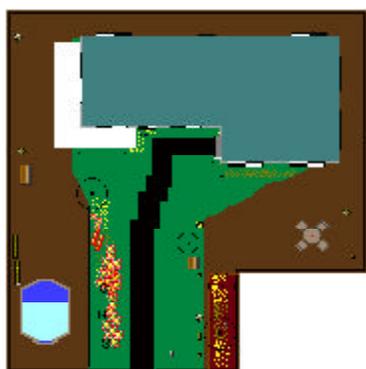


図14-3-1



図14-3-2

15. オブジェクトの移動

・樹木、花、素材部品や家屋を移動するには、平面図上の移動したい素材部品の記号の上で、マウスの左ボタンを押して下さい。

・ここではこの樹木の楓 (カエデ) を移動してみましょう。(図15-1)

・マウスポインタの先に樹木記号が付いてきますので、マウスボタンを押したまま、移動したい場所にドラッグして放すと、楓を新しい場所に置くことができます。

・なお移動途中のマウスボタンを押したままの状態、マウスの右ボタンを押すと、その部品を90度単位で回転することができます。

回転しても変化の出ない部品は、回りませんのでご注意ください。



図15 - 1

16. オブジェクトの削除（消しゴム）

・これまでに、配置したり貼ったりしてきた素材部品が不要になった場合、平面図上から取り除くことができます。

・図16-1の消しゴムボタンをクリックすると、マウスポインタが消しゴムに変わります。

・マウスポインタが消しゴムになっている状態のまま、マウスの左ボタンを押すと、そこにある素材部品を消すことができます。

・ここではスイセンを少なくしてみましょう。（図16-2-1）

平面図にあるスイセンの上で、左ボタンを押してから放すと、その場所にあったスイセンが消えます。（図16-2-2）

・消しゴムのサイズを変えてみましょう

マウスポインタが消しゴムになった状態で、マウスの右ボタンを数回押してください。

マウスポインタの先に出る、点線の正方形の大きさが変わります。

このように消しゴムのサイズを切り替えながら、庭のデザインをしてみてください。

このサイズの違いを、拡大して比較してみると、図16-3のようになります。

・また、消しゴムのサイズを変えた後に、マウスの左ボタンを押したままドラッグすると、その場所にある多くの素材部品を消すことができます。

もう一度消しゴムボタンを押すまでの間、素材部品の削除を繰り返すことができます。



図16-1

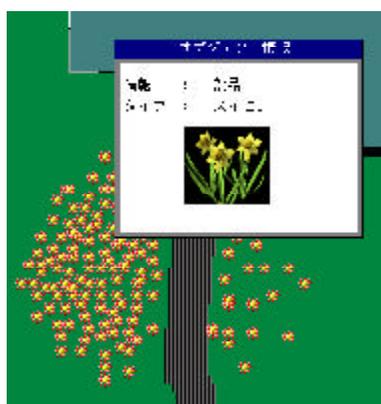


図16-2-1

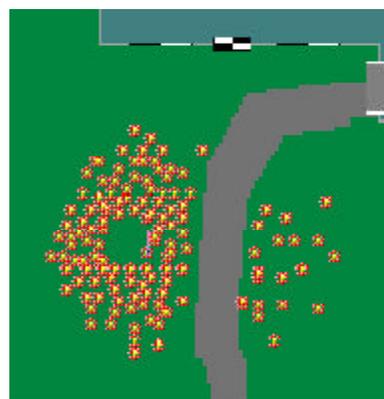


図16-2-2



図16-3

17. デザインワーク処理の取り消し（アンドゥ）

・デザイン作業に失敗した場合、図17-1のボタンを押すと、ひとつ前の処理を取り消すことができます。

・芝生の削除を取り消し、ひとつ前に戻ってみましょう（図17-2-1、図17-2-2）



図17-1



図17-2-1



図17-2-2

アンドゥができるのは1回だけです。何個もさかのぼって元に戻すことはできません。

18. 平面図の拡大縮小

・平面図上の素材部品の数が増えて、見づらい時は、図18- 1のプラス虫眼鏡ボタンを押して平面図を拡大して下さい。(ズームイン)

敷地全体を表示したい場合は、図18- 2のマイナス虫眼鏡ボタンを押して平面図を縮小して下さい。(ズームアウト)



図18 - 1



図18 - 2

19. オブジェクトの情報表示

・平面図上では、全ての樹木や素材部品は記号で表されています。(図19-1)

・平面図上にある、素材部品の名前や種類がわからなくなった時は、その記号の上で右クリックをして下さい。

・その素材部品や樹木、家屋、敷地の情報がポップアップ表示されます。(図19-2-1、図19-2-2、図19-2-3)

・平面図の上をクリックすると、ポップアップした情報を閉じることが出来ます。



図19-1



図19-2-1



図19-2-2



図19-2-3

20. デザインした庭を保存する

・ここまでのデザインを保存してみましょ

保存しておくと、前回保存したガーデニングデザインをロードして、ここからデザインを続けることができます。(図20-1)

・図20-2のボタンを押すと保存ダイアログが出ますので、保存するフォルダを選び、デザイン名を入力して下さい。(図20-3)

「保存」ボタンを押すと保存されます。

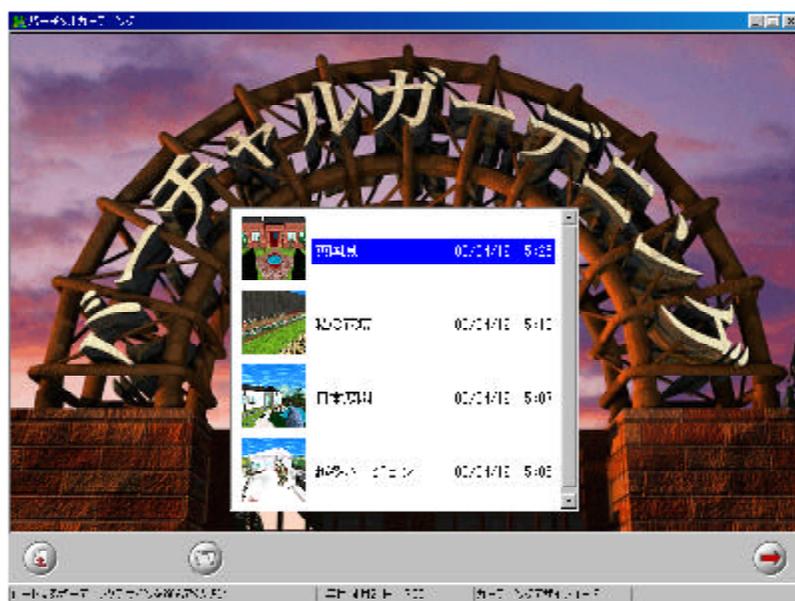


図 20 - 1



図 20 - 2



図 20 - 3

21. デザインをやりなおす

今までデザインしてきた庭を破棄して、またはじめからデザインしなおしたい場合は、図21-1のボタンを押してメインメニューに戻り、ガーデニングデザインスタートから再度やりなおして下さい。(図21-2)



図 2 1 - 1



図 2 1 - 2

22. バーチャルガーデニングを終了する

・バーチャルガーデニングを終わらせる場合は、図22-1のボタンを押してメインメニューに戻り終了を押して下さい。(図22-2)

・デザインした庭が保存されていない時や、前回保存の後に修正されていた場合、現在のデザインを保存するかどうか確認します。(図22-3)

保存する場合は、「はい」を選択して保存を実行して下さい。



図 2 2 - 1



図 2 2 - 2



図 2 2 - 3

23. デザインした庭を見る（ウォークスルーの開始）

・デザインができれば、その庭の中を歩き回ってみましょう

図23-1のボタンを押すと、もちろんデザイン途中でも、デザインの確認のために、歩き回る（ウォークスルーする）ことができます。

・あなたは庭の中に入り込み、敷地に立って庭を眺めています。（図23-2）

下にある図23-3のボタンで前進、後退をしたり 図23-4のボタンで右、左、上、下を向いたり 図23-5のボタンで上昇、下降の指示をしながら庭の中を歩いて下さい。



図23-1



図23-2



図23-3

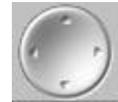


図23-4



図23-5

デザインした庭を歩く、見回す

・まず図23-3のボタンの上の部分を押して前進してみましょう

・次に図23-4のボタンの右の部分を押して少し右を向いてみましょう

・次に図23-4のボタンの上の部分を押して少し上を向いて見ましょう

・今度は少し、しゃがんでみましょう

図23-5のボタンの下の部分を押すと、今までより低い位置から見るようになります。

・もちろん、今の説明の通りに歩く必要はありません。

あなたの思うようにボタンを押して自由に歩いたり見回したりして下さい。



図 2 3 - 6



図 2 3 - 7



図 2 3 - 8

視点のジャンプ

- ・図23-6のボタンを押すと、鳥の視点まで一気に上昇します。
デザインした庭の上空からの眺めを楽しんで下さい。
- ・同じ場所にある図 23-7ボタンを押すことによって、人間の視点に戻ることが出来ます。
- ・また、図23-8のボタンを押すと、ウォークスルーの開始位置になっている玄関まで戻ることが出来ます。

オブジェクトの周りを通る(オブジェクトウォークスルー)

ある特定の樹木や花などをじっくり見たい場合は、画面上でそのオブジェクトをクリックして下さい。

次の方法で、図23-9の楓(カエデ)を中心にして周りを回ってみます。

・クリックすると、楓が視界の中心になるように視点が変化します。このとき、画面下にある図23-10のボタン表示が図23-11のように変わります。

- ・実際に、樹木を中心に歩いてみましょう
- ・図23-12のボタンの右側を押すと、樹木の回りを右に回ります。
- ・図23-12のボタンの上側を押すと樹木の上に回り込みます
- ・庭の中(CG画面上)をクリックすると、この状態は解除され、通常のウォークスルーに戻ります。



図 2 3 - 9



図 2 3 - 1 0



図 2 3 - 1 1



図 2 3 - 1 2



図 2 3 - 1 3 - 1



図 2 3 - 1 3 - 2

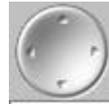


図 2 3 - 1 4 - 1



図 2 3 - 1 4 - 2

歩幅などの設定

- ・ウォークスルーする間の、一步進む距離などを変更することが出来ます。
- ・図 23-13-1 のボタンに対して右クリックで、設定ダイアログ (図 23-13-2) がポップアップしますので前進後退の歩幅を 10cm 単位で指定して下さい。
- ・図 23-14-1 のボタンに対して右クリックで、設定ダイアログ (図 23-14-2) がポップアップしますので一回に見回す角度を指定して下さい。
- ・図 23-15-1 のボタンに対して右クリックで、設定ダイアログ (図 23-15-2) がポップアップしますので一回の上昇下降の高さを 10cm 単位で指定して下さい。

デザインワークへ戻る

- ・デザインを変更したい場合は、図 23-16 のボタンを押してガーデニングデザインワーク (図 23-17) へ戻ります。



図 2 3 - 1 6



図 2 3 - 1 7



図 23 - 18 - 1



図 23 - 18 - 2



図 23 - 19 - 1

図 23 - 19 - 2

図 23 - 19 - 3

ウォークスルー環境の変更 (時間、天候、樹木の生長)

・庭の表示環境や経過年数を設定するには、図23-18-1のボタンを押して、ガーデニングシミュレーションのプロパティシート(図23-18-2)を表示させます。

・このプロパティシートは3ページのタブから構成されています。

・1ページ目(図23-19-1)の環境タブでは樹木の生長環境を設定します。

まず、この庭のある、つまり あなたの住んでいる都道府県をリスト選択して下さい。これは樹木生長時の気温や天候に影響します。

・次に、この庭の土壌の、排水性、保水性、施肥状態をラジオボタンで選択して下さい。これも樹木の生長に大きく影響します。

また 庭の背景もリストの中から選択し変更することが出来ます。

・2ページ目(図23-19-2)の時間タブに切り替えると、時間環境を設定することが出来ます。

経過年数を変更することによって、樹齢を進ませた樹木を生長させることが出来ます。

経過年数は減らすことが出来ませんので、ご注意ください。

季節は1月から12月までを、時間は0時から24時までを選択して下さい。

ウォークスルーに戻ると、画面の下では、指定した月と時間を表示しています。

ウォークスルーの時間、季節を自動的に経過させたい場合は、「季節時間の自動遷移」をチェックして下さい。

朝昼夜、春夏秋冬と、時間や天候が自動的に切り替わります。

その切り替わる速度は、1分あたりの経過時間で設定します。

24時間に設定すると、1分間に24時間（1日）経過します。

画面下にはウォークスルー表示をしています。

・3ページ目（図23-19-3）の天候タブに切り替えると天候環境を設定することができます。

雲の量、風の強さを選択して下さい。

また、雨や雪を降らせることができます。雨や雪の量と風の強さを選んで下さい。

ウォークスルーの天候を自動的に切り替えたい場合は、「地域季節に応じた天候の自動遷移」をチェックして下さい。

ここをチェックすると、あなたが選択した所在地と季節、時間に従って、降水確率など天候が変化します。

ただし、天候の自動切り替えは時間タブ（図23-19-2）の「季節時間の自動遷移」がチェックされている時のみ有効です。

・図23-20のボタンを押すとウォークスルー画面へ戻ります。

経過年数を変更していた場合は、樹木の生長シミュレーション計算をバックグラウンドで行っていますので、画面下の表示は、その時の時間や天候に応じて切り替わります。



図 2 3 - 2 0

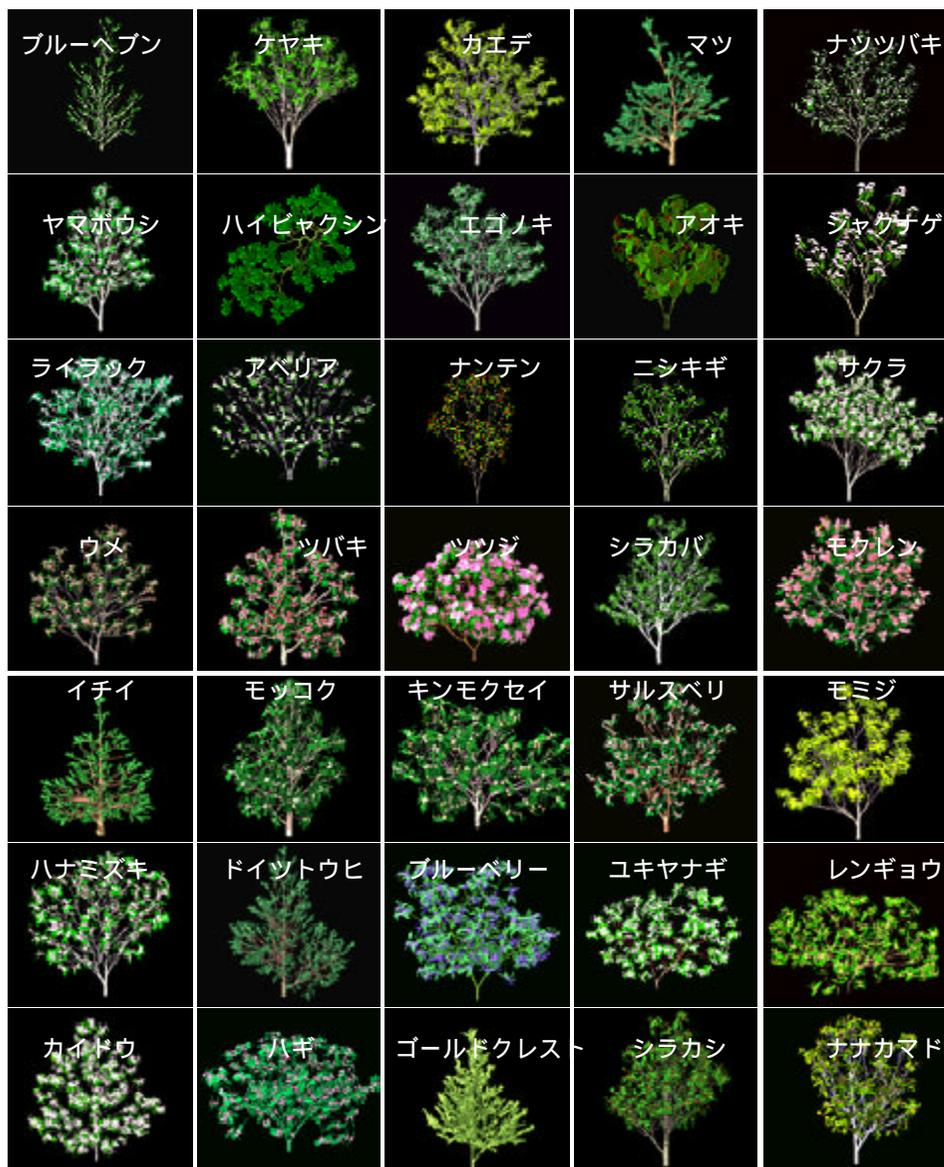
24. さいごに

ひと通り本製品の使い方をご説明しました。ご自由に庭をデザインしたり、その中を歩いたりしながら、季節や時間帯によって変化する庭の様子をぜひお楽しみ下さい。

付録 部品リスト

樹種リスト

本ソフトで扱うことのできる樹種リスト(35種)



庭に植えられる木は最大20本です。これらの木々が時間とともに生長していきます。

門（8種）



門 1

門 2

門 3

門 4

門 5

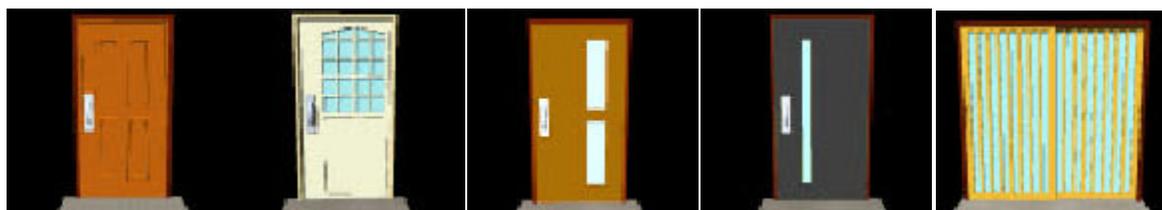


門 6

門 7

門 8

玄関（14種）



玄関 1

玄関 2

玄関 3

玄関 4

玄関 5



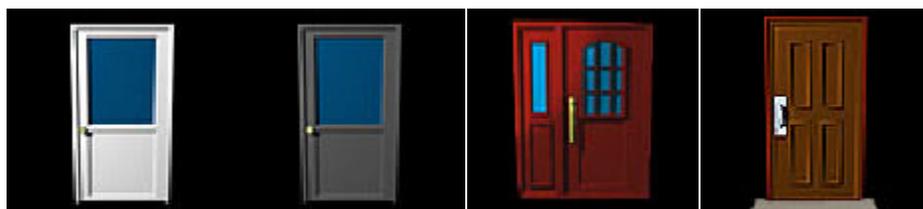
玄関 6

玄関 7

玄関 8

玄関 9

玄関 10



玄関 1 1

玄関 1 2

玄関 1 3

玄関 1 4

窓（18種）



窓 1

窓 2

窓 3

窓 4

窓 5



窓 6

窓 7

窓 8

窓 9

窓 10



窓 1 1

窓 1 2

窓 1 3

窓 1 4

窓 1 5

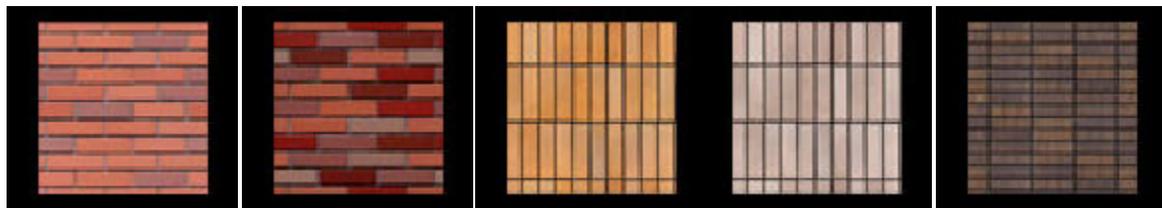


窓 1 6

窓 1 7

窓 1 8

外壁（25種）



外壁 1

外壁 2

外壁 3

外壁 4

外壁 5



外壁 6

外壁 7

外壁 8

外壁 9

外壁 10



外壁 11

外壁 12

外壁 13

外壁 14

外壁 15



外壁 16

外壁 17

外壁 18

外壁 19

外壁 20



外壁 21

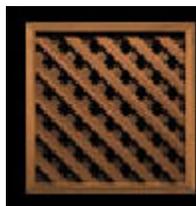
外壁 22

外壁 23

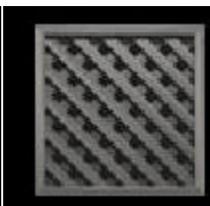
外壁 24

外壁 25

垣根（15種）



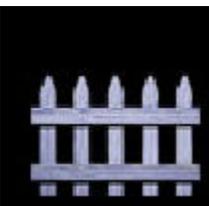
トレリス1



トレリス2



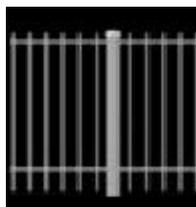
柵1



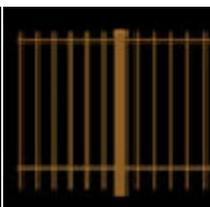
柵2



柵3



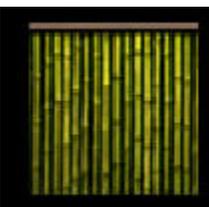
フェンス1



フェンス2



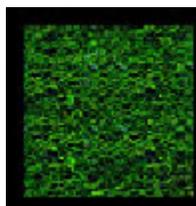
コンクリート



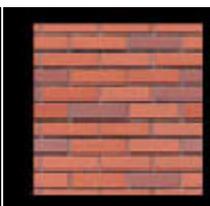
竹垣1



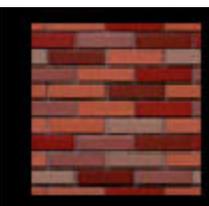
竹垣2



生垣



レンガ1



レンガ2

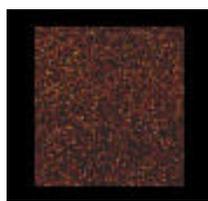


ブロック1

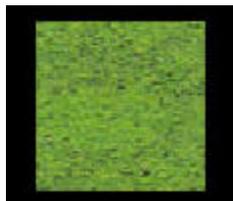


ブロック2

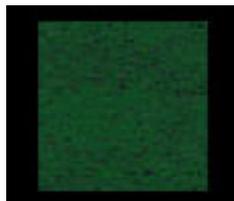
地表面 (27種)



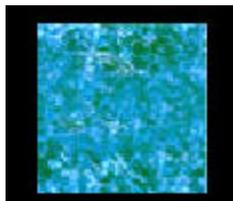
土



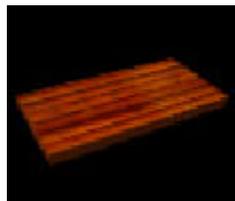
芝生



苔



池



ウッドデッキ 1



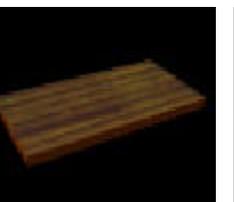
ウッドデッキ 2



ウッドデッキ 3



ウッドデッキ 4



ウッドデッキ 5



ウッドデッキ 6



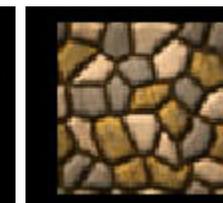
ピンコロ



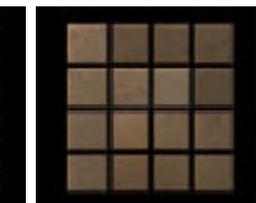
自然石 1



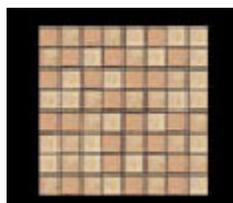
自然石 2



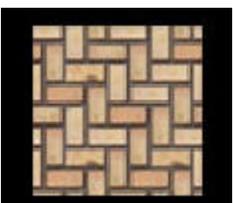
自然石 3



タイル



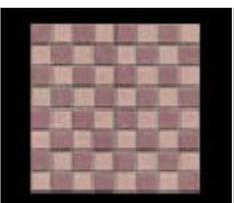
テラコッタレンガ 1



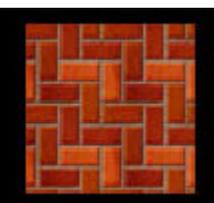
テラコッタレンガ 2



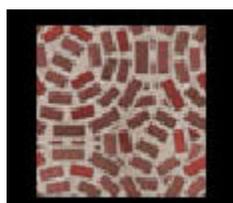
テラコッタレンガ 3



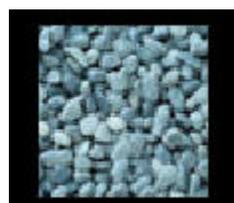
レンガ 1



レンガ 2



レンガ 3



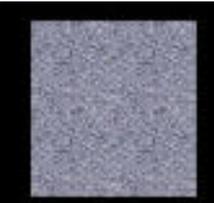
砂利 1



砂利 2



砂 1



砂 2



碎石



コンクリート

プランタ鉢 (2 4 種)



プランタ 1

プランタ 2

プランタ 3

プランタ 4

木製プランタ



コンテナ

バケツ

足つきプランタ

ログプランタ

つぼ(大)



つぼ(小)

舟形プランタ

円筒プランタ

角形プランタ

レンガプランタ



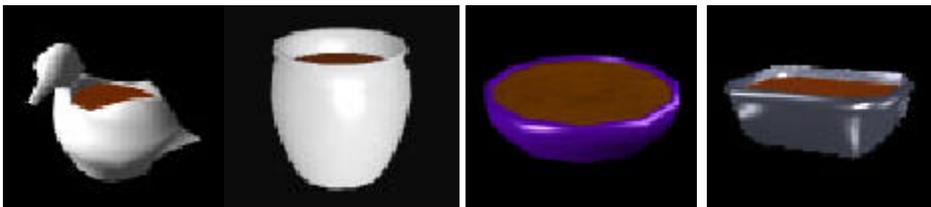
棚付きプランタ 1

棚付きプランタ 2

棚付きプランタ 3

一輪車プランタ

ストロベリーポット



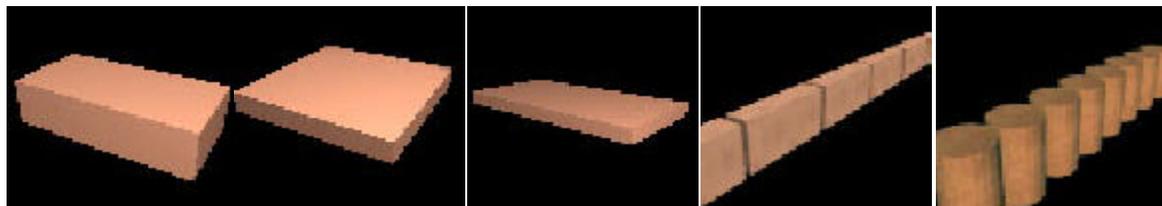
カルガモポット

鉢つぼ

鉢

四角鉢

石・レンガ（28種）



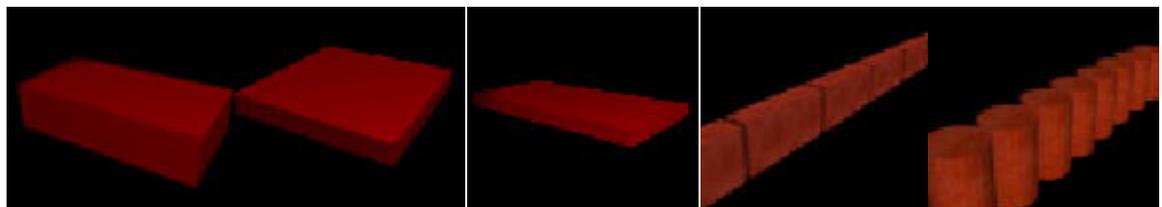
レンガ1

レンガ2

レンガ3

レンガ4

レンガ5



レンガ6

レンガ7

レンガ8

レンガ9

レンガ10



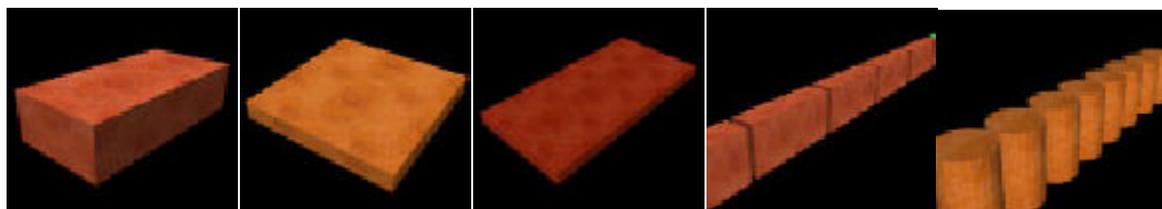
庭石1

庭石2

庭石3

庭石4

庭石5



レンガ11

レンガ12

レンガ13

レンガ14

レンガ15



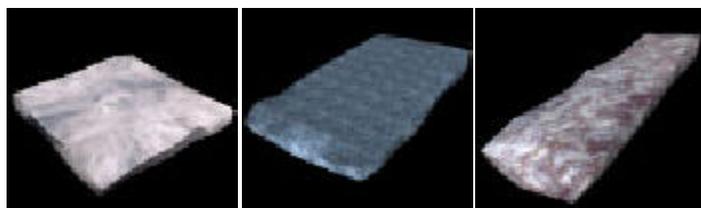
敷石1

敷石2

敷石3

敷石4

敷石5



敷石6

敷石7

敷石8

アクセサリ (3 5 種)



パーゴラ 1

パーゴラ 2

枕木

椅子 1

椅子 2



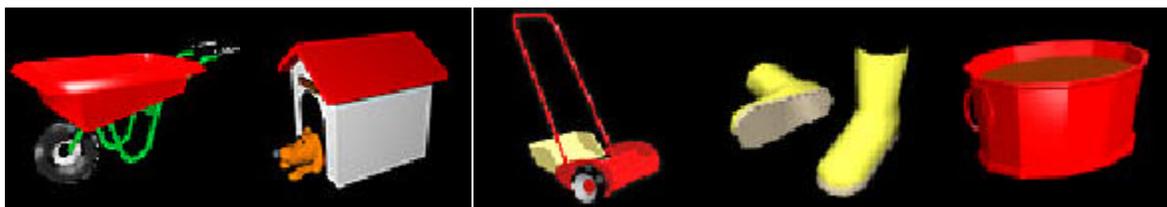
ベンチ 1

ベンチ 2

テーブルセット 1

テーブルセット

ホースリール



一輪車

犬小屋

芝刈機

ゴム長靴

ブリキバケツ



ブリキジョウロ

ジョウロ

メールボックス 1

メールボックス 2

縁台 1



縁台 2

シャベル

三輪車

燈籠 1

燈籠 2



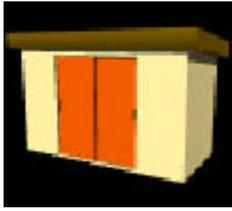
燈籠 3

燈籠 4

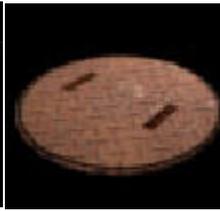
鹿おどし

外灯 1

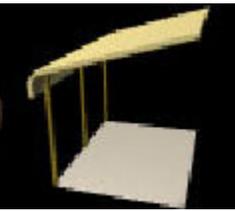
外灯 2



物置



マンホール



カーポート 1



カーポート 2

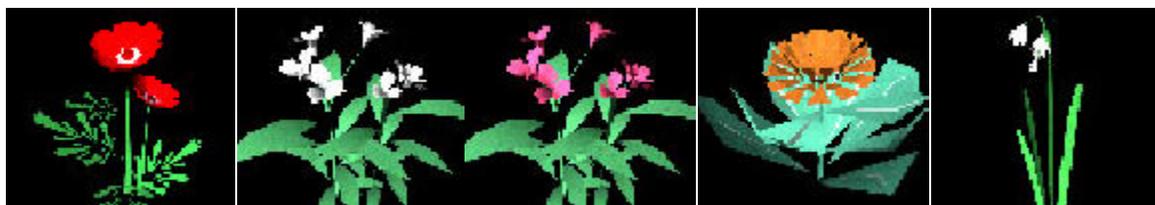


下駄

花（春）（33種）



アザレア(紫) アザレア(白) アジサイ ネモネ(紫) アネモネ(白)



アネモネ(赤) アルストロメリア(白) アルストロメリア(桃) キンセンカ スノーフレーク



チューリップ(赤) チューリップ(白) チューリップ(黄) デージー(赤) デージー(白)



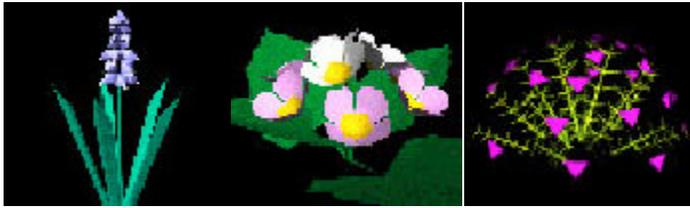
ビオラ フリージア(薄紫) フリージア(白) フリージア(黄) ポピー(橙)



ポピー(黄) ポピー(桃) マーガレット(白) マーガレット(黄) マーガレット(桃)



ミニバラ(赤) ミニバラ(黄) ミニバラ(桃) ムスカリ(紫) ムスカリ(白)

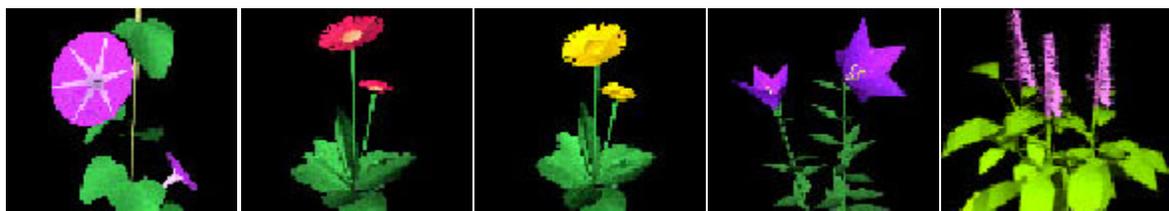


ムスカリ(薄紫)

ランタナ

ロベリア

花（夏）（26種）



アサガオ ガーベラ(赤) ガーベラ(黄) キキョウ サルビア



ジニア シロタエキク ストレプトカーパス(紫) ストレプトカーパス(白) セイジ



ゼラニウム(赤)Ⅰ ゼラニウム(赤)Ⅱ ゼラニウム(桃) ゼラニウム(白) デルフィニウム



ナスタールチウム(橙) ナスタールチウム(赤) バラ ヒマワリ ペチュニア(桃)



ペチュニア(赤) ペチュニア(紫) ペチュニア(白) マリーゴールド ラベンダー



ウチワサボテン

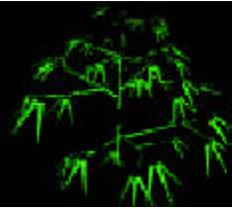
花（秋冬）（25種）



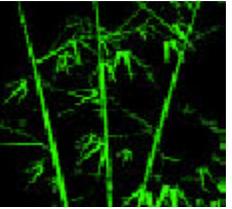
コスモス(白)



コスモス(桃)



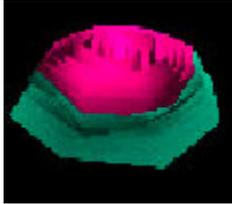
竹(小)



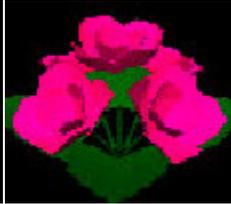
竹(大)



パセリ



ハボタン



ベゴニア(赤)



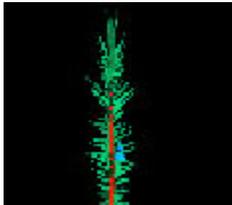
ベゴニア(燈)



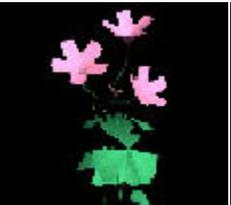
ミント



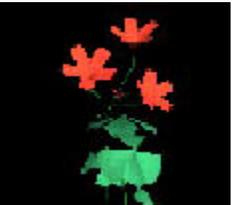
レモンパーム



ローズマリー



オキザリス(桃)



オキザリス(赤)



クロッカス



スイセン



パンジー(黄)



パンジー(白)



パンジー(赤)



パンジー(紫)



ヒアシンズ(紫)



ヒアシンズ(桃)



ヒアシンズ(白)



プリムズ(白)



プリムズ(桃)



プリムズ(紫)

動作がおかしいときに

バーチャルガーデニングが上手く動作しない場合の対処方法などをご説明します。
インターネットの弊社サイトのサポートページには最新の情報が載っています。

<http://www.jfp.co.jp/garden/support/>

また、一部、ユーザ名とパスワードを要求される場合があります。

その場合の ユーザ名 gardenuser

パスワード true#use9

をお使いください。(すべて半角小文字です)これらユーザ名とパスワードは正規ユーザ様以外には明かさないうようお願いいたします。

これらの情報で解決しない場合には必ず登録シリアル番号を明記の上、以下の宛先までメール、郵便、またはFaxでご相談ください。(勝手ながら、電話によるサポートは行っておりません。ご了承ください)

その際、お使いのWindowsのバージョン、メモリが何MBか、HD空き容量をお知らせ下さい。

電子メール support@jfp.co.jp

Fax 019-623-4028

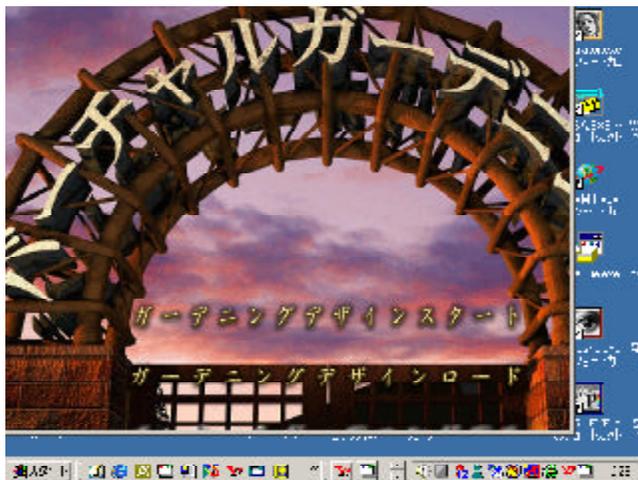
〒020-0063 岩手県盛岡市材木町 2- 26 近三ビル 2F

株式会社ジェーエフピー VGサポート係宛

(1) デザインワーク画面へ進むボタンが表示されない

アップデートFDをインストールしていますか？

添付されているフロッピーの1枚目にあるsetupを実行して、アップデートを行ってください。
このような画面になっていませんか？



これは解像度を640 × 480としたときの画面です。画面の解像度が800 × 600以上でなければ、表示画面の上下が切れてしまい、操作できません。

画面の解像度を変更して再度立ち上げなおしてください。

(2) バーチャルガーデニングをインストールしたフォルダを消したら、再インストールできなくなった

・Windowsの「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」からバーチャルガーデニングを削除する場合

・バーチャルガーデニング付属の「UNINST」を実行せず、直接バーチャルガーデニングを消してしまった場合

以上のような場合、Windowsのレジストリにバーチャルガーデニングの設定情報が残ってしまいます。

バーチャルガーデニングのインストーラは、CD-ROM挿入時に何回もインストールが行われなように、レジストリにバーチャルガーデニングの設定情報がある場合にはインストールを行わないようになっています。

ですから、アンインストーラでの削除を行わない場合、再インストールができなくなってしまうこととなります。

このような状況になってしまった場合、「VGRECOV.exe」を実行してください。

VGRECOV.exeはレジストリから、バーチャルガーデニングの情報を削除するだけの単純なプ

ログラムです。

VGRECOVはアップデートフロッピーの2枚目に入っています。

VGRECOV.exeを実行すると、数回、メッセージが表示されますが、無視して続けて構いません。

(3) 「ガーデニングデザインロード」で「和風」を読み込もうとするとエラーが表示される

アップデートFDをインストールしていますか？

添付されているフロッピーの1枚目にあるsetupを実行して、アップデートを行ってください。

(4) 敷地が斜めの場合に敷地に沿って垣根が引けない

敷地が斜めの場合には、敷地の縁にぴったり沿っていないと垣根は引けません。虫眼鏡ボタンを使って、拡大しながら敷地の縁に沿ってずれないように垣根を引いてください。

(5) ウォークスルー画面が真っ黒になってしまう

おそらく、ディスプレイの設定が256色か16色になっているものと思われます。

(1) も、バーチャルガーデニングを立ち上げていれば、いったん終了します。

(2) Windowsの「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 - 「画面」で、上のタブから「設定」を選びます。

(3) 「色」をHigh Color(16ビット)か、True Color(24ビット)にします。

(TrueColorは機種によっては選べない場合があります)

(4) Windowsの再起動を行うよう聞いてきますので、再起動を行います。

Windows98やWindows2000の場合は必ずしも再起動する必要はありません。(再起動しないで新しい色の設定を使用するを選んでかまいません。)

(5) バーチャルガーデニングを立ち上げます。

(6) 使い方が良くわからない。

クイックリファレンスや本マニュアルをご参考にしてください。また、メインメニューの「バーチャルガーデニングデモ」で、ムービーと音声によって、バーチャルガーデニングの機能を解説しています。(CD-ROMにバーチャルガーデニングのCDを入れないと、この機能はお使いになれません)

(7) デザイン中に家の配置がおかしくなる?

部品配置後に敷地変形や建物の移動を行うと、このような現象がまれにおこることがあります。敷地変形や建物の移動は部品配置前に済ませて置くようお願いいたします。

(8) 様々なエラーが発生してウォークスルーを行えない

まず、最新版にアップデート済みかどうかをチェックしてください。バーチャルガーデニングデモ (CD-ROMを挿入していないとこのメニューは実行できません)で、「バージョン情報」を選ぶことでバージョン番号はチェックできます。

アップデートされていることが確認できたならば、以下をチェックします。

Windows95の場合

バーチャルガーデニングがインストールされているフォルダ
(標準的には C:\Program Files\JFP\VG になります)内に

Opengl32.dll

Glu32.dll

というファイルがあった場合、この2ファイルの拡張子をdlxと変更して、使用できなくしてみてください。

(Opengl32.dlx, Glu32.dlxとします)

それでも問題が変わらない場合、Windows98の場合を試してみます。

Windows98の場合

Windowsのコントロールパネルを開き、「システム」を開きます。「パフォーマンス」タブを選び、詳細設定の「グラフィックス」ボタンを押し、「グラフィックスの詳細設定」ダイアログを開きます。

「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」にします。OKを押してWindowsを再起動してください。

それで、問題が解決したのであれば、「ハードウェアアクセラレータ」の設定目盛を一つずつ右へ設定してそのたびにWindowsを再起動し、問題が発生しない一番右側の目盛にします。(左側にあるほど、お使いのシステムのパフォーマンスが落ちます)さらに問題が解決しない場合、「WindowsNTの場合」をご覧ください。

Windows2000の場合

Windowsのコントロールパネルを開き、「画面」を開きます。「設定」タブを選び、「詳細」ボタンを押します。「トラブルシューティング」タブを選び、「ハードウェアアクセラレータ」を「なし」にします。OKを2回押して設定を行ってください。

それで、問題が解決したのであれば、「ハードウェアアクセラレータ」の設定目盛を一つずつ右へ設定し、問題が発生しない一番右側の目盛にします。(左側にあるほど、お使いの

システムのパフォーマンスが落ちます)

さらに問題が解決しない場合、「WindowsNTの場合」をご覧ください。

WindowsNTの場合

ディスプレイドライバを最新のものに入れ替えてみてください。ただし、本ソフトに限らない一般的な問題として、ディスプレイドライバを入れ替えることでパソコンが起動しなくなる可能性があります。ディスプレイドライバを入れ替えられる方にだけ、この方法をお勧めします。

(9) 印刷機能はないの？

バーチャルゲーデニングに印刷機能はついていませんが、画面をキャプチャして他のアプリケーションから印刷できます。

画面をコピーするには、ALT + PrintScreenで現在アクティブなウィンドウの画像をコピーできます。全体をコピーするにはPrintScreenキーだけでOKです。その後、Windows標準添付の「ペイント」などのお絵かきソフトで「編集」-「貼り付け」を行います。フリーソフトなどでキャプチャ機能を持ったソフトを利用しても良いでしょう。

